

# 土木工学科の生徒にインタビュー！

土木工学科の生徒の方に、授業や、学校生活についてお話を伺いました。

## ○インタビューを受けてくださった方

**山際 敬祐さん**

建設工学科（土木類型）の3年生。学習と部活動の両立を頑張った。関東学院大学への進学をし活躍の場を広げようとしている。

**堀 絢音さん**

建設工学科（土木類型）の2年生。資格取得やものづくりに意欲的に取り組み、進学を目指している。

※令和4年度入学生が2年次より、「土木工学科」に名称を変更。

## どんなことを勉強するの？

—専門教科の中で、特に好きな専門教科について教えてください。

**山際** 実習です。

土木に関することです。理由は暇にならないからです。

**堀** 土木基礎力学です。

土木基礎力学というのは、昔から私たちの生活や、産業、経済活動に欠かせない道路や鉄道、ダムなどに加わる色々な種類の「力」について学ぶ教科です。普段何気なく利用している土木構造物にはどんな力が加わっているのかを日常生活で重ね合わせて考えるのが楽しいので好きです。

—実習の中で、特に楽しかった実習について教えてください。

**山際** 測量です。

校舎一周の距離や角度を測りました。成果が数字で表れるため、達成感を強く感じる事ができるため楽しいです。

**堀** コンクリートの強さ試験です。

コンクリートのテストピースを作って、それを圧縮をしてどれくらいの強さに耐えられるかを調べました。一人一つのテストピースを作るときに、材料を一からまぜて作ったり、圧縮しているコンクリートの様子を観察したりするのが楽しいと感じました。



## 専門教科って難しいの？

—専門教科と聞くと難しそうですが、ついていくのは大変ですか。

**山際** 専門科目は、すべて高校から学ぶため覚えるのは少し難しいです。

**堀** 土木の教科はあまり難しくないと思います。

その理由としては、土木の施設は身近にあり、よく見るしよく利用するので、日常生活と重ね合わせて考えられるため他の教科より理解しやすいと思うからです。

## どんな資格・検定を取得するの？

—これまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

**堀** 土木施工管理技士2級です。

土木構造物を造るときに使用する材料や、規則について学ぶことで、現場で作業する人たちをまとめることができるようになる資格です。

ひたすら過去の問題を解いて資格取得に挑みました。

## どんな先生が教えて下さるの？

—自慢の先生を教えてください。

**山際** 分からないところを寄り添って教えてくださる先生がいます。

**堀** 土木の先生はみんな面白い先生ばかりです。

でも、面白いだけではなく、授業は分かるまで教えてくれたり、学校生活についての相談にもものってくれます。

## どのように部活に取り組んでいるの？

—所属している部活動について教えてください。また、頑張っていることも教えてください。

**山際** ラグビー部です。

自主練習をたくさんして、苦手なことをなくしています。

**堀** 新聞部です。

新しく入ってきた先生の紹介や、工業高校特有の工業に関する記事を書いて、新聞を作っています。

—部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

**山際** 部活の時間は真剣に取り組み、勉強の時間は切り替え同じように真剣に取り組んでいます。

**堀** 新聞部は、活動日数が少ないので、両立は難しくありません。

## 中学生へメッセージ

**山際** 先生が優しいため、わからなくても最後まで丁寧に教えてくださいます。

**堀** 将来、多くの人に感謝される職業に就きたい人や、ショベルカーなどの重機に興味がある人、あまり勉強が得意ではないという人は、ぜひぜひ土木工学科に!!一緒に楽しんで勉強しましょう！

—インタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

**山際・堀** ありがとうございました。

## インタビューを終えて

土木工学科は普段生活している周りの構造物についての勉強を詳しくするため、生活するうえで構造物の見方が変わってくるかもしれませんね。楽しそうな学科だと感じた方は、是非、土木工学科を見学してみたいかでしょうか。

この記事は令和4年12月時点の情報です。

作成：令和4年度 後期生徒会